

8 月 定例記者会見 市長あいさつ

皆さま、こんにちは。

まずはじめに、23日午前2時ごろ、茨城県南部を震源としたマグニチュード5.9の地震が発生しました。取手市では震度5弱を観測しましたが、市内では、地震により怪我を負った方がいたほか、水道設備の破損などの被害がありました。

また、今月13日には、千葉県でこれまでに経験したことのないような大雨となった「令和8年8月千葉豪雨」において、甚大な被害が発生いたしました。

今回の豪雨により、お亡くなりになられた方々に対し、心よりお悔やみを申し上げますとともに、被災されました皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。

取手市でも、レベル4大雨危険警報とレベル4土砂災害危険警報が発表され、道路冠水などの被害が発生いたしましたが、お隣の千葉県我孫子市などでは、レベル5大雨特別警報が発表され、多くの被害が報告されております。

災害時相互応援協定を締結するなど、密接な関係にある我孫子市への災害支援として、市では、ふるさと納税災害支援代理寄附の受付を行っております。

皆さまの温かいご支援をお寄せいただければと思って

おります。

今回のような地震や突発的な集中豪雨など、大規模な災害は、いつどこで発生するか分かりません。市民の皆さまにおかれましても、今一度、家庭や職場での災害への備えを確認していただければと思っております。

さて、8月8日土曜日には、取手の夏の風物詩「とりで利根川大花火」が無事開催され、来場されたおよそ12万人の皆さまに、約1万発の花火とドローンショーによる感動と興奮をお届けできたかと思っております。

また、8月17日、市内の中学生硬式野球チームであります取手リトルシニアが、「第20回全日本中学野球選手権記念大会ジャイアンツカップ」で見事優勝し、全国1,641チームの頂点に輝きました。

4年ぶり2度目の優勝ということで、大変名誉なことであり、お慶びを申し上げますとともに、チーム・選手の皆さまのさらなるご活躍を心よりお祈り申し上げます。

それでは、本日の発表事項に移ります。

はじめに、「令和8年第3回取手市議会定例会議案」についてです。

会期は、9月2日 水曜日からの予定となります。

定例会に提出する議案は、条例の一部改正が2件、市道

路線の認定・変更が2件、令和8年度補正予算が5件、令和7年度決算の認定が7件など、計19件を提案いたします。

まず、条例の一部改正については、「取手市認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について」など、国の法改正等に伴い、市の条例において必要な処置を講ずるため、条例の一部を改正するものであります。

次に、令和8年度取手市一般会計補正予算第2号についてご説明いたします。

一般会計補正予算の総額は、12億2,412万3千円の増額で、補正後の予算総額は、512億7,623万2千円となります。

主な歳出補正内容の一つ目は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金活用事業として、5,160万円を計上いたします。

これは、物価高騰対策として、高齢者福祉施設や障害者福祉施設などを運営する事業者に対し、支援金を交付するものや、エネルギー価格等の高騰の影響を受ける地域公共交通等の事業者に対し補助金を交付するものになります。

主な歳出補正の二つ目は、デマンド型交通導入に向けた実証運行事業として、2,859万6千円を計上いたします。

これは、既存の公共交通機関を利用できない移動困難者等に対し、買物や通院など、日常で最低限必要となる移動手段を確保し、移動格差を解消するための乗合形式のデマンド型交通導入に向けた実証運行を実施するため、計上するものになります。

令和 8 年第 3 回取手市議会定例会議案の説明は、以上となります。

次に、「とりでっ子見守りおむつ定期便がスタート！」についてです。

市では、市内で乳児を養育する家庭を対象に、毎月の見守り支援と、経済的支援としておむつなどをお届けする「とりでっ子見守りおむつ定期便事業」を 9 月 1 日から開始いたします。

訪問期間は、お子様が生後 5 か月となる月から、満 1 歳の誕生月まで毎月 1 回、見守り支援員が子育て用品を配達し、その際に、育児の悩みごとやお困りごとなどを気軽に相談をすることができます。

この事業は県内初の取り組みとなっており、9 月 1 日の事業開始の際には、ラッピングカーのお披露目も兼ねた出発セレモニーを行います。

市内で 0 歳児のお子様がいるご家庭に対し、育児の不安

や悩みの早期解消に繋げるとともに、経済的な負担軽減の一助になればと考えております。

以上で、私からの説明を終わります。